

平成28年度

社会福祉法人 弥生福祉会 地域貢献活動事業報告書

【目的】

法人理念である「老いても 人生をエンジョイできる 地域社会の創造」の実現にむけ、法人が基盤を置く地域での地域づくりを行うため、地域貢献活動に取り組む。

【目標】

地域とのつながりを大切にし、高齢者にやさしい地域づくりを目指します。

◎社会福祉法人 弥生福祉会の理念である「老いても人生を エンジョイできる 地域社会の創造」を実現させるために、「地域貢献活動事業計画」を策定。

→・職員会議などを通じて、法人全職員に対して説明し、活動への理解促進に努める
・公民館（デイホームやよろず茶屋、地区社会福祉協議会）や包括支援センター、市地域包括ケア推進課、嶺北認知症疾患センターなどへ活動内容の説明を行い、地域貢献活動への協力、連携を依頼

○地域との連携を図るための活動

<自治会活動>

- ・事業所の立地する自治会への加入（若杉中、若杉南、緑苑）
- ・自治会の回覧板にて地域の情報を収集したり、当法人の広報誌やお知らせを入れさせてもらったりし、活動へ繋げる
- ・地域の清掃活動への参加
- ・子ども会行事、自治会バーベキューへの参加
- ・自治会総会への出席、自治会活動の把握と自治会活動への参加

<福祉避難所としての役割>

- ・福祉避難所として、積極的に広報活動を行い、災害時に活用いただけるように努める
- ・地域防災訓練への参加
- ・普通救命講習（AED講習）
- ・認知症サポーター養成講座開催

○地域福祉への貢献活動

<認知症の理解普及・啓発活動>

- ・キャラバン・メイトの各事業所へ配置
- ・認知症にやさしいまちづくり協力事業所の登録
- ・認知症理解普及月間（9月）に一般市民へ認知症に関するチラシを配布
- ・認知症理解普及イベントであるRUN伴への参加
- ・認知症サポーター養成講座への協力

木田地区（民生委員、福祉委員、自治会関係者向け）

社地区（社南小学校4年生向け）

みのり地区（豊小学校4年生向け）

社地区（親子向け）

自事業所向け（愛寿苑 家族会、職員向け）

企業向け（福邦銀行 本店、若杉支店、社支店）

<介護支援専門員同士のネットワーク構築や実践力向上の協力活動>

→各包括エリアの介護支援専門員を対象として、介護予防ケアマネジメントやの医療と介護の連携等に関する研修を実施（不死鳥包括、明倫包括、光包括、みなみ包括、越前市包括）

<福井市における地域福祉向上のための協力活動>

→福井市虐待防止ネットワーク委員会の構成メンバーとなり、行政への意見を述べ、福井市全体の福祉のために活動

<介護の日に合わせた特別番組での福井県社会福祉協議会、FBCへの取材協力>

→介護の日に合わせた特別番組を福井県社会福祉協議会が企画しFBCにて番組を制作することになり、取材に協力。普段行っている地域貢献活動の様子や福祉避難所としての役割に関して、番組を通して地域の方へ発信する。

【総評】

地域貢献事業計画を立案しての取り組みとしては初年度ということもあり、他法人との情報交換等いろいろ試行錯誤しながら進めた。様々な活動がある中で、社会福祉法人として地域に貢献できる活動に絞って取り組んだ。取り組みを行う中で、地域の持つ力の再発見や、新たな地域課題に気付かされることがあり、来年度につながる活動となった。来年度は地域とのつながりをさらに加速させ、福祉だけでなく防災など地域住民にも関わりのある分野においても活動範囲を広げていきたい。